

## 11 月の木材価格・需給動向

### 1. 国産材(北関東)

栃木県では、需要に供給が追いつかない状況が続いている。高齢者の離職も多く、人手不足で現状は需要を満たすことは難しい。予定数量が集まらない状況であったが、11 月に入り入荷は良くなった。大手製材工場の在庫不足により引き合いは強く価格も良い。製品価格は依然として鈍い状態が続いているが、原木の出材が増えず、市況は全国的に強含んでいる。特にスギ 3m 柱取り、ヒノキ 4.0m 材が高値で取引された。

群馬県でも原木の出材が低調で集荷しづらい。特にバタ角用(4.0m、9～13cm)が少ない。スギ、ヒノキ、カラマツともに値上がりが続いている。大型物件や注文材が多く、忙しいが、一般物件は例年に比べ出足が悪い。販売は順調だが、受注や見積もりは減少。在庫は羽柄材が全体的に品薄(特に貫、胴縁)だが、母屋、桁等は一服感。製品価格は横ばいで推移。原木高、原油高が製品に転嫁できず、収益率は悪化している。

### 2. 米材

米加産地ともに出材は順調。米国内の港頭在庫は潤沢な水準を維持しているが、カナダ側は順調な出材ながら 9 月に払底した在庫の積み上げが出来ておらず、非常に低水準である。ウェアハウザー社の 11 月積み対日価格(推定)は前月比 \$50 ダウンの \$920 となり、3 カ月連続の下落となった。米国製材品価格の大幅な値下がりが継続しており、産地の大手製材工場は原木価格の高騰や国内市況を理由に減産(約 10%)を発表した。原木購入量の減少による産地国内価格の下落に伴って、輸出価格も下落した。ランダムレングス紙発表の 15 種平均価格(11/2)は \$337/M で 9 月末に比べ 16.8% の DOWN。現地価格は月を追うごとに下がっており、国内では先安感を懸念してか荷動きは低調。対日価格は四半期ベースではなく、単月でも安価なオファーも出ている。

9 月の原木入荷量は 137 千 $m^3$ 、1～9 月累計で 1,972 千 $m^3$ (前年同期比 2.8% 減)、出荷量は 165 千 $m^3$ 、1～9 月累計で 1,947 千 $m^3$ (同 4.9% 減)と低水準。在庫は 223 千 $m^3$ で在庫率は 1.04 ヶ月。国内の米材製材工場の出荷は順調ながら価格は横ばいで、採算的には苦しい環境にある。国内二番手の米材製材工場が製材からの撤退を決定している。10 月の東京木材埠頭の入荷は 29 千 $m^3$ (前月比 29.7% 増)、出荷は 26 千 $m^3$ (同 41.5% 増)、在庫は 56 千 $m^3$ (同 5.9% 増)。

米マツ製品の入荷が順調で一時的に在庫が増えている。

### 3. 南洋材

サバ州では大手伐採業者が全面停止状態で年内は伐採が再開されない見通し。サラワク州は雨季に突入したが、それほど天候の影響を受けていない。中国市場が静かで産地は弱含み。日本向けは樹種限定で価格変わらず。PNG、ソロモンでは中国向け価格は弱含みだが、日本向け価格は変化なし。ソロモンで米国環境団体の活動で伐採規制が行われる可能性が大きい。11月予想の原木入荷は15千 $m^3$ 、出荷は15千 $m^3$ 、在庫は15千 $m^3$ 、製材品の入荷は35千 $m^3$ 。フリー板の国内在庫は多くないが、荷動きは非常に悪く、価格は下げ基調。

### 4. 北洋材

産地各社工場とも原木在庫、稼働状況は今が底である。北方の一部工場では、冬伐り原木が入荷し始めた。アムール川沿いでは今年のカラマツ原木輸出は終了し、内陸からの出荷に限定される。現地挽き製品は現地丸太が少なく、現地コストは下がらない状況で、国内価格も厳しく、これ以上の上げ機運もなし。国内挽きは原板コストが下がらず、現地挽き製品よりも採算が厳しい。アカマツ原板の本格交渉は冬山開始以降となる。中国-米国の関税問題で中国からの引合いが減少(特にカラマツ原木)。また中国やウズベキスタンに活発に売っていたアカマツ(30×40)、原板類の低級グレード製品の対日売込みが増えている。11月予想の原木入荷は7千 $m^3$ 、出荷5千 $m^3$ 、在庫20千 $m^3$ 、製品入荷(東京+川崎)は19千 $m^3$ 、出荷20千 $m^3$ 、在庫40千 $m^3$ 。

### 5. 合板

国産材原木は東北カラマツの引き合いが依然強く上昇傾向。スギは依然不足感の強いまま。ロシア材は出材が限定的で強含みのまま。米材は未だ不足感が強い。南洋材は高値張り付きに変化はない。

9月の国内合板生産量25.2万 $m^3$ のうち針葉樹合板は23.6万 $m^3$ 、出荷量は24.2万 $m^3$ となり、生産量が在庫量を9カ月連続で上回っている。在庫量は19.7万 $m^3$ となり、このうち構造用合板は17.1万 $m^3$ と前月より大幅に増加している。国内針葉樹合板のメーカー出し価格は依然横ばいであるが、安値がなかなか無くならず、11月も価格の乱れは収まらない模様。輸入合板は在庫のバランスが悪くなったように感じる。在庫のない商品の価格は上がったが、荷余り感のあるものは価格転嫁が進んでいない。品薄品目は生コンパネ、ラワンの3mm、5.5mm、構造用12mm。9月合板輸入量は20.6万 $m^3$ と先月より約3万 $m^3$ 少ない。今年の3月に次いで2番目の低水準となった。産地マレーシアでは決

して原木は多くないが、今のところ生産は堅調、インドネシアでも雨季に入りつつあるが、原木は比較的の確保できており、稼働は今のところ順調である。

先行き、針葉樹合板の安値がなかなか無くならず、11月も価格の乱れは収まらないだろう。輸入合板は全体的に強含み傾向と見られるが、品薄商品以外は価格転嫁に時間がかかるものと見られる。

## 6. 構造用集成材

ラミナの入港は順調で国内メーカーのラミナ在庫は潤沢。第4・四半期交渉はほぼ決着しており、日本側の買い意欲は薄かった。ユーロ価格は久しぶりの下げ、ただしWW柱用は数ユーロの上げになっている。国内メーカーにこれ以上の値下げ余地はないが、一部地域でRW梁5万円台の安値が出ている模様。11月に入り、PC工場はフル稼働に近く、集成材の荷動きも多少良くなっている。欧州ラミナメーカーは中国、米国、欧州域内や中近東等での需要回復により対日値上げ姿勢を強めてきたが、ここに来て弱気姿勢に転じている。

## 7. 木材チップ

台風、災害等の影響が引き続き残っており、チップ原木の出材に影響が出ている。解体材も台風による風倒木、建屋の被害木等の発生、後片付け材が多く、入荷量は多い。製紙用、燃料用とも製紙会社、バイオマス発電所等の定期修理の影響が残り、チップの使用減に繋がっている。特に燃料用の在庫は非常に多く、国内チップ工場では受入制限、処理費の値上げ等の動きが出ている地区もある。

## 8. 市売問屋

製材所の原木不足が顕著になっており、機械を止めざるを得ない製材所もある。製品不足ではあるが、都内の材木店は仕事量と釣り合っているのか、購買意欲はない。造作材の荷動きも少なく、公共建築物や店舗・病院などに使われる程度である。今年の年末に廃業する材木店が多くなっている。

## 9. 小売

全体的に停滞感があり、従来需要期とは言えない状況が続いている。スギ・ヒノキ構造材は10月に入り、やや落ち着いてきた感がある。価格も保合い。米ツガ割物、米ツガ注入土台の価格は高止まりのため、米マツへのシフトが徐々に進んでいる。WW管柱の引き合いは鈍いが価格は強含み。輸入合板は品薄感はあるが、荷動きに精彩を欠く。価格は強含み。国産針葉樹合板は荷動きに停滞感があり、価格は横ばい。

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	↘	→
南洋材	丸太	↘	→	↘
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↘
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角 (GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	→
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	↘
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	↘			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	↗
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
		東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産) 同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗ →
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級	→
		アカマツ (KD) 16×40上級	→	
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→